



JST メディア向けセッション

平成30年11月9日



科学技術振興機構

サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラは、「科学」と「社会」の関係をより深めていくことを目的として、あらゆる立場の人たち（市民、研究者・専門家、メディア、産業界、行政関係者など）が参加し対話する、**日本最大級のオープンフォーラム**です。



これからのAI時代に私たちは何を学び、何を身につけたらよいのか？

快適に暮らせる毎日をどう作る？

世界規模で広がる格差に私たちは科学で何ができるのだろうか？

こんなものがあったら生活がもっと楽しくなるのに！



サイエンスアゴラ2018（お台場）開催概要

日 程：11月9日（金）～11月11日（日）

会 場：9日は日本科学未来館、10日・11日はテレコムセンタービル
※初日と、2～3日目の会場が異なるのでご注意ください

特 徴：①「共創」活動をクローズアップ

②次世代人材の活躍を促進

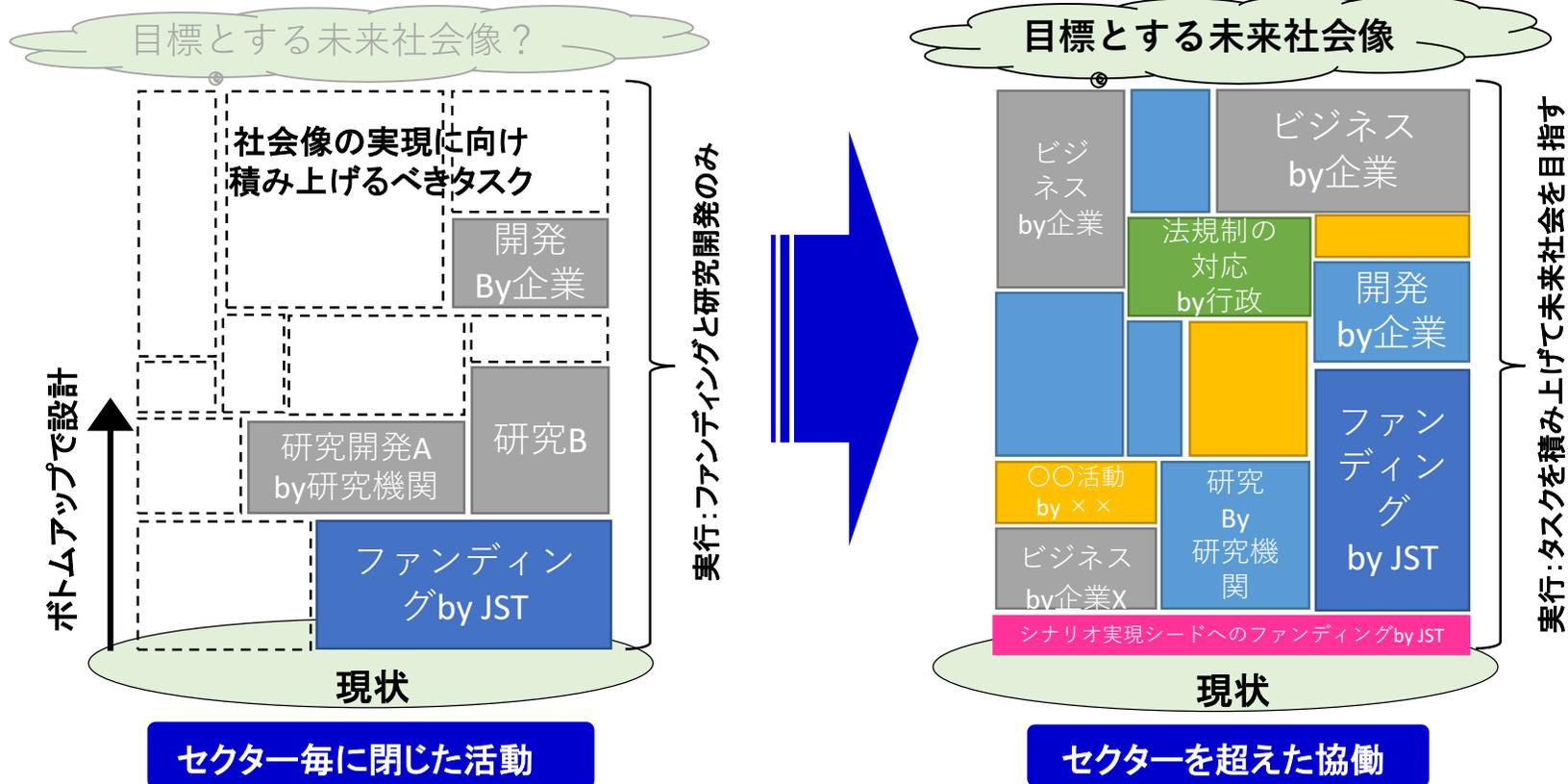
③「科学技術に対する社会的期待や課題」に関する市民の声を収集

次世代を担う若手研究者や大学生、中高学生によるブースやセッションを含め、科学者との対話、シンポジウム、ワークショップや展示など、誰もが参加できる120企画（セッション50企画・ブース70企画）を、多様な外部有識者により厳選しました。



昨年（サイエンスアゴラ2017）の様子

なぜ「共創」が必要？



JSTの共創活動

1. サイエンスアゴラ

2. 各種事業



未来社会創造事業



センター・オブ・イノベーション(COI)



社会技術研究開発センター



地球規模課題対応
国際科学技術協カプログラム

3. STI for SDGsに向けた取り組み

- ①広報・啓発活動の推進 (SDGs for All, STI for All)
- ②SDGs達成に貢献するプログラムの実施 (STI for SDGs)
- ③SDGsの視点を踏まえた業務の推進 (SDGs for STI)

4. 未来社会デザイン・オーブンプラットフォーム (CHANCE) 構想の提唱

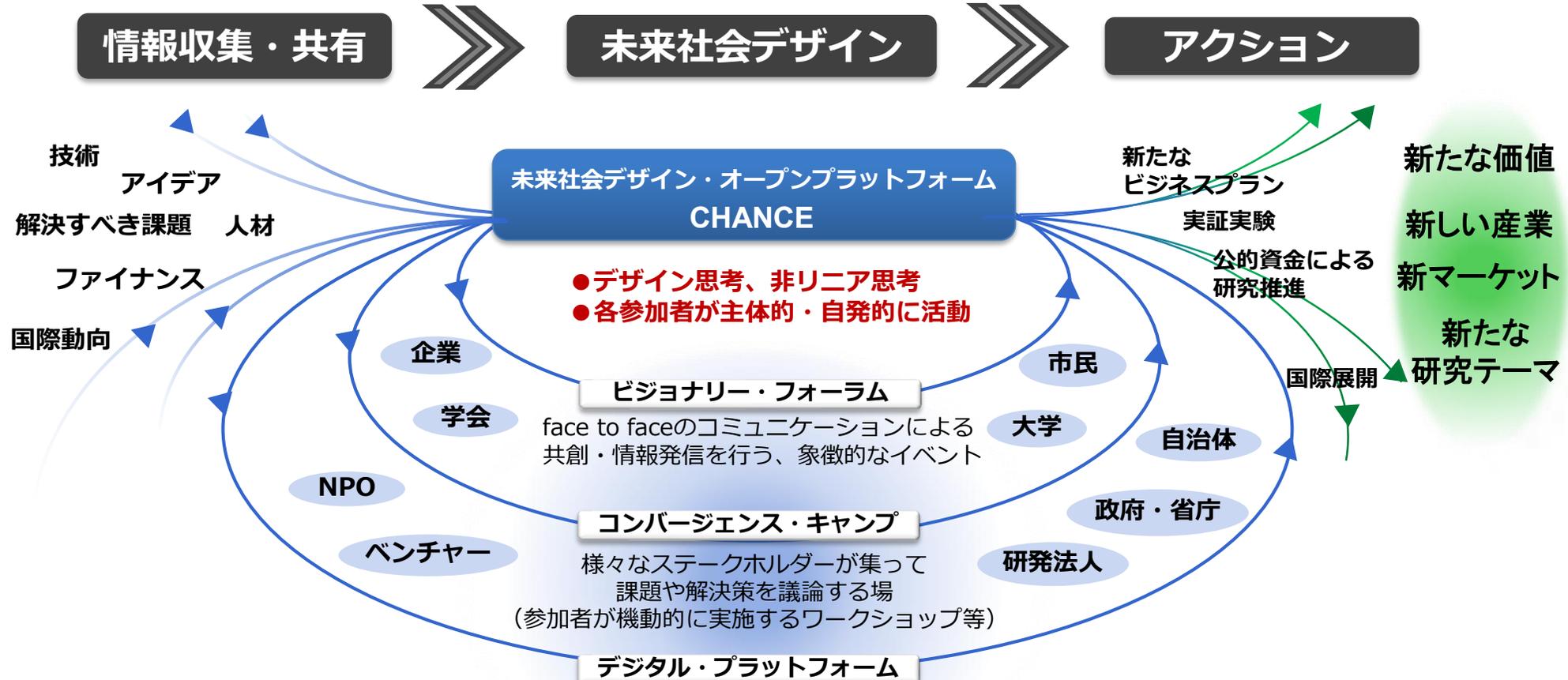
未来社会デザイン・オープンプラットフォーム (CHANCE*) 構想

目的：未来社会をともにデザインし、実現する

*CHANCE : CHALLENGE-driven CONvergence Engine

目標：SDGsの達成・Society5.0の実現

- 多様なステークホルダーが分野・セクターを超えて自由に参画し、「共創」を展開
- コンバージェンスを促進し、従来にはない新たな発想のもと、対処すべき課題の特定や未来社会デザインを実施
- 各プレイヤーが強みを発揮してイノベーションを持続的に創出・実装し、持続可能な未来社会の実現に貢献



<http://chance-network.jp>

CHANCEに係る諸情報を共有・展開・活用し、持続的な共創を可能とするウェブサイト

ブダペスト宣言 1999年世界科学会議

4つの責任

知識のための科学； 進歩のための知識

Science for knowledge; knowledge for progress

平和のための科学

Science for peace

開発のための科学

Science for development

社会における、社会のための科学

Science in society, science for society

世界科学フォーラム (World Science Forum)

2017 テーマ

Science for Peace

2019 テーマ

Ethics and Responsibility of Science

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

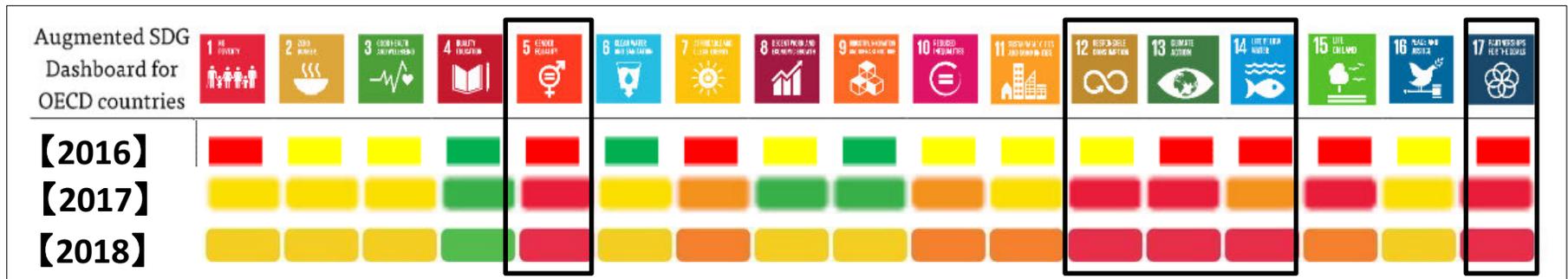
世界を変えるための17の目標



SDG Index & Dashboardによる日本の評価

- 2016年7月に、独・ベルテルスマン財団の支援を受けて、持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（Sustainable Development Solutions Network : SDSN）を中心に、“**SDG Index and Dashboards – Global Report**”を公表。
- SDGsの全ての目標に対する達成度を既存のデータからランキング。

<日本のSDG Index & Dashboardの結果>



<http://www.sdgindex.org/>

* 緑色：概ね達成済み、黄色またはオレンジ：危機的状況、赤色：達成までほど遠い状況を示す

SDG Index & Dashboards 2018の概要

Rank	Country	Score
1	Sweden	85.0
2	Denmark	84.6
3	Finland	83.0
4	Germany	82.3
5	France	81.2
6	Norway	81.2
7	Switzerland	80.1
8	Slovenia	80.0
9	Austria	80.0
10	Iceland	79.7
11	Netherlands	79.5
12	Belgium	79.0
13	Czech Republic	78.7
14	United Kingdom	78.7
15	Japan	78.5
16	Estonia	78.3
17	New Zealand	77.9
18	Ireland	77.5
19	Korea, Rep.	77.4
20	Canada	76.8
21	Croatia	76.5
22	Luxembourg	76.1
23	Belarus	76.0
24	Slovak Republic	75.6
25	Spain	75.4

←SDGsの達成度を示す世界ランキング【100点満点】



→
SDGsの17目
標に対する達
成度【OECD
国のみ】

Source: Authors' analysis

基調講演

「あらゆる制限を超えて75億人をつなぐ挑戦」 ～一企業に閉じない、グローバルでチャレンジングな共創～

航空運送事業の枠を超え、介護や防災などの分野で新しい価値の創出に取り組む「ANA Avatar（アバター）」の事業メンバーが登壇し、世界中の多様な人々と連携し共創を進めるAvatar事業の事例を共有します。

【Avatar：分身となるアバター（ロボットなど）と、自身の視覚・聴覚・触覚などを同期して遠隔操作をすること。アバターのある場所に自分の意識・感覚を移動させ、離れた場所での体験を可能とする。様々な技術を融合して高性能なアバターを実用化させるには数十年を要すると言われるが、共創により実現までの時間短縮が期待され、一部は実証実験に進んでいる】

登壇者（敬称略）



津田 佳明

ANAホールディングス株式会社
デジタル・デザイン・ラボ
チーフ・ディレクター



深堀 昂 梶谷 ケビン

同デジタル・デザイン・ラボ
アバター・プログラム・ディレクター

- 開催日時：11月9日（金）13:30～14:30
- 開催場所：日本科学未来館 7F 未来館ホール（企画番号102）

キーノートセッション

SDGs達成の先に何を見るか ～未来の幸福を デザインする社会の共創～

科学技術のグランドチャレンジと「共創」の重要性を象徴する基調講演に続き、キーノートセッションでは、SDGs達成の先にどのような社会を見るか、ゴールとなる人類の幸福をデザインするために、これからの日本の研究開発や産業はどのような価値を提供していくのかをパネリストと共に探ります。

- 開催日時：11月9日（金）
14：45～16：30
- 開催場所：日本科学未来館 7F
未来館ホール（企画番号103）

パネリスト



小松太郎

上智大学総合人間科学部教授、
グローバル教育センター長
ユネスコ・パリ本部教育局、国連
コソボミッション教育局等を経て
現職。研究分野は開発途上国や紛
争後社会の教育政策・教育行政と
平和構築。



深堀 昂

ANA ホールディングス株式会社
デジタル・デザイン・ラボ
アバター・プログラム・ディレクター
エンジニアとしてANAでのキャリ
アをスタート。2018年3月より国
際賞金レース「ANA AVATAR
XPRIZE」を開始。



Hank Kune

Founding Partner of the
Future Center Alliance(FCA)
社会的イノベーションのための
アールト・キャンプ(Aalto Camp)
の設立者の一人で、各国の
フューチャーセンターの設立や運
営に影響を与える。

ファシリテーター



駒井章治

奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス研究科 准教授
専門は神経科学。日本学術会議若
手アカデミー委員会委員長、
Global Young Academy役員など
を歴任。サイエンスアゴラ2018推
進委員長を務める。

國枝秀世

JST 上席フェロー
JST未来社会創造事業「持続可能な
社会の実現」領域の運営統括。將
来の社会的課題を見すえて革新的
な科学技術でその解決を目指す
研究プロジェクトを推進中。



Kay Firth-Butterfield

世界経済フォーラム
AI・機械学習プロジェクト長
法律家として世界経済フォーラム
のAI・機械学習プロジェクトを率
いる。英国議会AI議員連盟専門ア
ドバイザリーボード、IEEE(米国
電気電子学会)にてAI倫理の国際
標準に関する副議長等を務める。



Michiel Kolman

Senior Vice President-
Information Industry Relations
And President International
Publishers Association
Diversity and Inclusion in the
publishing at Elsevier
学術誌“New Astronomy”創刊など、
オランダ、日本、ドイツを中心に
出版の立場から研究リーダーとの
グローバルなネットワークを構築。



Martha Russell

Executive Director of mediaX at
Stanford University
学際的、企業連携プログラム
「mediaX」を長年に渡り率い、シ
リコンバレーの起業家文化とスタ
ンフォード大学の知的、技術的、
文化的資源の接続を図る。



ご参考 (配布のみ)

理系で広がる私の未来

注目
企画

STEM Girls Ambassadors トークセッションに 宇宙飛行士の山崎直子さんが参加！

(13:30からは1F アゴラステージ脇で山崎さんにインタビューを行います。)

理系選択後の未来を、STEM Girls Ambassadors
のみなさんが語り合います。

参加するSTEM Girls Ambassadors

- ・ 杉本雛乃 (東京大学工学部4年生)
- ・ スナイデン房子 (日本マクドナルド上席執行役員
CMO)
- ・ 玉城絵美 (早稲田大学准教授)
- ・ 山崎直子 (宇宙飛行士)
- ・ 渡辺美代子 (JST副理事)

■ 開催日時：11月10日 (土)

10:30~12:00

■ 開催場所：テレコムセンタービル20F会議室1

■ 主催：内閣府男女共同参画局 科学技術振興機構



Fashion Tech Lab

注目
企画

発明のその先へ、最新テクノロジーと共にデザインする力

「SPF World Media Art Award」人工知能を使って審美眼をデジタル化。美しさを図ることだけではなく、現代アート「世界の新しい切り口を発見する」という解釈を作り出すことを目指しています。

「多汗症患者のためのファッション」自身が重度の多汗症患者であることがきっかけで、多汗症患者にも優しいファッションを提案します。

その他、**ファッションテックの活用、用途や展開の可能性**について発表します。



FASHION TECH LAB



- 開催日時：11月10日（土）
14：15～15：45
- 開催場所：テレコムセンタービル1Fアゴラスステージ
- 主催：Fashion Tech Lab デジタルハリウッド大学院

“未来総理”になって考える日本の未来

注目
企画

「日本社会の未来をどうする？」

研究者・起業家・高校生が“未来総理”になって考えます！

＜千葉大・倉阪教授が開発した「未来カルテ」を活用＞

登壇者

- 佐藤裕崇（南洋理工大学）
- 朝日透（早稲田大学理工学術院）
- 橋爪克弥（株式会社ジャフコ）
- 西田亮介（株式会社 チトセロボティクス）
- 市川学園高校のみなさん
- 豊島岡女子学園高校のみなさん



進行

- 倉阪秀史（千葉大学 大学院人文社会科学研究科）

■開催日時：11月11日（日）

12：30～14：00

■開催場所：テレコムセンタービル1Fアゴラスステージ

■主催：科学技術振興機構（理数学習推進部、産学連携展開部、社会技術研究開発センター、「科学と社会」推進部）



サイエンスアゴラ in K O B E

地方
開催

昨年に引き続き、サイエンスアゴラ連携企画[※]として開催します。

※サイエンスアゴラのビジョン、テーマ、トピックを共有し、JSTとともに実施する、共創活動の振興を図るフォーラム

日 程：11月23日（金・祝）

会 場：甲南大学ポートアイランドキャンパス
レクチャーホール

テーマ：科学・技術って誰のもの？

主催 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
神戸市

共催 国立研究開発法人理化学研究所
神戸大学
甲南大学
国立研究開発法人科学技術振興機構

最先端研究を行う研究者と、高校生が一堂に会して、立場や世代を越えて科学と社会のこれからをともに考えます。

基調
講演

細胞がくっついたり離れたりー組織の維持と崩壊のしくみ

竹市 雅俊（国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター
高次構造形成研究チーム チームリーダー）



トーク
セッション

～地元高校生を交えて～

竹市 雅俊

×

池田 茂

甲南大学
理工学部
機能分子化学科
教授

×

堀 久美子

神戸大学大学院
システム情報学
研究科 助教

×

高校生の
みなさん

兵庫県立神戸高等学校・神戸
市立六甲アイランド高等学校・
神戸大学附属中等教育学校・
甲南高等学校